

第 22 回日本テレワーク学会研究発表大会

～ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク～

.....
～ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク～

第 22 回大会実行委員長 中西穂高(帝京大学)

テレワークは、新しい働き方の一つとして注目されていましたが、多くの人にとってはよその会社の出来事でした。しかし新型コロナウイルス感染症の拡大により、テレワークは毎日のようにマスクでも取り上げられ、身近な存在になってきました。その結果、テレワークの課題がいろいろな場所で顕在化し指摘されていますが、同時に、テレワークの効果も広く実感されるようになってきています。

こうした状況のもと、テレワークを研究する学術団体である日本テレワーク学会が、テレワークに関する議論や研究成果を発信していくことは極めて重要であると言えます。

そこで今年は、「ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク」をテーマに、研究発表大会を開催いたします。今大会は、例年のような実際に集まっての議論でなく、オンラインでの議論の場となりますが、「テレワーク」のメリットを実感できるような研究発表の場となるように準備を進めてまいります。

発表内容は大会テーマに即したものでも、その他のテレワークに関する研究成果でも結構ですので、皆さんの参加をお待ちしております。

【開催日程】

2020 年 9 月 26 日(土)9:20～17:10

【開催会場】

新型コロナウイルス感染防止の観点から、今大会は、WEB 会議(Zoom)を用いたオンライン方式で開催します。

【プログラム】

第 22 回日本テレワーク学会研究発表大会プログラム
～ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク～

大会日程 2020 年 9 月 26 日 (土) 開催方式 ZOOM による発表大会方式

	セッション A 発表	セッション B 発表
9:20～ 9:30	はじめに ご挨拶 市川宏雄 (大会委員長 学会会長/明治大学名誉教授)	
9:30～ 10:00	R1 報告 ● 発表者 ● 田澤由利 (テレワークマネジメント) ● 発表テーマ ● コロナ禍におけるテレワークの変化 ～意識・制度・ツール～ ● 進行 ● 平山信彦 (アクティブストラテジーズ 学会理事)	● 進行 ● 事務局
10:00～ 10:30	R2 報告 ● 発表者 ● 阪野正義 (希望活動醸成機構) 松村 茂 (東北芸術工科大学) ● 発表テーマ ● ふるさとテレワーク実施地におけるコロナ禍 ～高畠熱中小学校における「大人の社会塾」の 変化と今後～ ● 進行 ● 平山信彦 (アクティブストラテジーズ 学会理事)	R3 報告 ● 発表者 ● 齋藤紀子 (千葉商科大学) 清水さえ子 (セーフティネット、) ● 発表テーマ ● 生活支援サービスを提供する有償ボランティア組 織のマネジメント ● 進行 ● 國井昭男 (情報通信総合研究所 学会副会長)
10:30～ 11:00	T1 論文 ● 発表者 ● 松村 茂 (東北芸術工科大学) ● 発表テーマ ● テレワークとコミュニティの基礎的研究 ー 地方行政によるコワーキングスペースの整備ー ● 進行 ● 中井秀樹 (大阪成蹊大学 学会理事)	T2 論文 ● 発表者 ● 福留恵子 (東海大学 現代教養センター 准教授) ● 発表テーマ ● 手段としてのテレワークと価値創造 ● 進行 ● 野口邦夫 (社労士のぐちくにを事務所 学会監事)
11:00～ 11:30	T3 論文 ● 発表者 ● 松村 茂 (東北芸術工科大学) 岩瀬義和 (デジコンキューブ) 齋藤博美 (ダブルインフィニティコーディネート) ● 発表テーマ ● 地域内コワーキングスペースの連携に関する基礎 的研究 ● 進行 ● 中井秀樹 (大阪成蹊大学 学会理事)	T4 論文 ● 発表者 ● 定平 誠 (尚美学園大学) 齋藤 忍 (尚美学園大学) 木村順一 (尚美学園大学) ● 発表テーマ ● ワークライフバランスにおけるながら学習効果 ー オーディオブックの学習コンテンツを事例にー ● 進行 ● 野口邦夫 (社労士のぐちくにを事務所 学会監事)
11:30～ 12:00	T5 論文 ● 発表者 ● 辺見佳奈子 (大阪商業大学) 山崎哲弘 (大阪成蹊大学) 下崎千代子 (井上エージェント) ● 発表テーマ ● コロナ禍における在宅勤務の現状と働き方の意識 に関する研究 ● 進行 ● 小豆川裕子 (常葉大学 学会副会長)	R4 報告 ● 発表者 ● 三浦拓馬 (いわきテレワークセンター) ● 発表テーマ ● ウィズコロナ時代のテレワークにおけるコミュニ ケーションの課題 ● 進行 ● 金丸利文 (沖電気工業 学会理事)
12:00～ 13:00	<p style="text-align: center;">昼食休憩 参加者各自 再開は 13 時から</p>	

13:00~ 13:30	<p>16 論文●発表者● 中村由美(福岡アジア都市研究所) ●発表テーマ● 地方都市のテレワーク活用に関する研究—福岡市を事例に</p> <p>●進行● 小豆川裕子(常葉大学 学会副会長)</p>	<p>17 論文●発表者● 眞崎昭彦(みずほ総合研究所) ●発表テーマ● 新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークの課題</p> <p>●進行● 奥野明子(甲南大学 学会理事)</p>
13:30~ 14:00	<p>18 論文●発表者● 堀 眞由美(中央大学) ●発表テーマ● 日本におけるニューノーマル時代のテレワークの課題 —米連邦政府の在宅勤務の進展との比較研究—</p> <p>●進行● 今泉千明(日本テレワーク協会 学会理事)</p>	<p>19 報告●発表者● 齋藤博美(ダブルインフィニティコーディネート) 松村 茂(東北芸術工科大学) 高橋政則(山形県村山市政策推進課) 高橋永子(山形県立産業技術短期大学校庄内校) 正野裕太郎(山形県産業労働部中小企業振興課) ●発表テーマ● With COVID-19 時代の新しい働き方と地方創生ビジョン</p> <p>●進行● 通堂重則(中小企業診断士 学会顧問)</p>
14:00~ 14:30	<p>19 論文●発表者● 田中 敦(山梨大学) 三科百花(JTB コミュニケーションデザイン) ●発表テーマ● ワーケーションに対する評価と利用意向に関する考察</p> <p>●進行● 今泉千明(日本テレワーク協会 学会理事)</p>	<p>110 論文●発表者● 中西穂高(帝京大学 学会副会長) ●発表テーマ● 新型コロナ対策としてのテレワークと通常のテレワーク</p> <p>●進行● 通堂重則(中小企業診断士 学会顧問)</p>
14:30~ 15:00	通常総会	
基調講演・シンポジウム		
15:00~ 15:50	<p>●テーマ ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク</p> <p>●基調講演 1 市川宏雄(大会委員長 日本テレワーク学会会長 明治大学名誉教授)</p> <p>●基調講演 2 比嘉邦彦(日本テレワーク学会特別顧問 東京工業大学教授)</p> <p>質疑応答・フリーディスカッション</p>	
16:00~ 17:00	<p>●パネルディスカッション●現場からの提言 ウィズコロナ・ポストコロナにおける働き方としてのテレワーク</p> <p>moderator 中西穂高(大会実行委員長 日本テレワーク学会副会長/帝京大学教授)</p> <p>Panelist 小豆川裕子(常葉大学 経営学部准教授 日本テレワーク学会副会長) 葉村真樹(東京都市大学 総合研究所 教授 日本テレワーク学会理事) 久保隆行(立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 准教授 日本テレワーク学会理事) 中村 仁(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授 日本テレワーク学会理事)</p> <p>質疑応答・フリーディスカッション</p>	
17:00~	<p>おわりに ご挨拶 中西穂高(大会実行委員長 日本テレワーク学会副会長/帝京大学教授)</p>	

注) 氏名・敬称略 プログラムは発表者または通信環境等の理由により変更になる場合がございます。

【参加申し込み】

■参加費

(予稿集(pdf)代を含む)

- ・会員(正会員・学生会員・賛助会員) 無料
- ・非会員 2,000 円(要事前振り込み)

※今大会は、冊子形式の(紙媒体の)予稿集は発行致しません。

■申し込み要領(会員)

9月22日(火/祝)までに、下記のフォーマットにて、大会実行委員会(taikai@jats-mail.net)宛にメールでお申し込みください。

=====
申し込みメール宛先: taikai@jats-mail.net

申し込みメール表題:【第22回大会参加申し込み(会員)】

お名前:

会員種別:

ご所属:

連絡先メールアドレス:
=====

参加申込者(会員)に対して、9月24日(木)を目途に「予稿集(pdfファイル)」および「Zoom 接続情報」を送付します。

※筆頭発表者(会員)・登壇者・司会者などの方は、改めて参加申し込みをいただく必要はありませんが、共同発表者(会員)は、参加申し込みをお願いします。

■申し込み要領(非会員)

9月22日(火/祝)までに、下記のフォーマットにて、大会実行委員会(taikai@jats-mail.net)宛にメールでお申し込みください。

=====
申し込みメール宛先: taikai@jats-mail.net

申し込みメール表題:【第22回大会参加申し込み(非会員)】

(必須)お名前:

(必須)ご所属:

(任意)お役職:

(必須)連絡先メールアドレス:

(任意)連絡先電話番号:
=====

参加申込者(非会員)に対しては、参加費振り込み先(銀行口座)をお知らせしますので、9月23

日(水)までにお振込みください。

入金確認後、9月24日(木)を目途に「予稿集(pdfファイル)」および「Zoom接続情報」を送付します。

※共同発表者(非会員)は、参加申し込みをお願いします。

【お問合せ先】

ご不明の点は第22回大会実行委員会までお問合せください。

taikai@jats-mail.net

【発表申し込み】

■発表の種別

今大会での発表は、「論文部門」および「報告部門」の2種類のカテゴリとします。

論文部門・・・既存研究を踏まえて、テレワークの理論的・実証的な考察をまとめたもの、あるいは、テレワーク実践等に関わるデータを包括的にまとめて考察したものが対象となります。

報告部門・・・理論的な厳密性よりは、実践性や速報性に重点を置いたものが対象となります。

論文部門の予稿集原稿の形式が論文形式となりますが、報告部門は発表用資料を予稿集原稿としても構いません。

いずれの部門も、発表と予稿集の言語は、日本語または英語とします。

■スケジュール

「論文部門」「報告部門」での発表を希望する方は、まず、発表の要旨を実行委員会まで送付してお申し込みください。

採択された場合は、予稿集原稿を期限までに提出していただきます。

発表要旨提出期限：2020年7月31日(金)

採択通知(予定)：2020年8月10日(月)

予稿集原稿提出期限：2020年9月13日(日)

■要旨の作成と送付

「論文部門」「報告部門」での発表要旨は、以下のサイトから送付してください。

https://questant.jp/q/22nd_entry

要旨提出(発表お申込み)時に必要な項目は以下の通りです。

- ・発表者
- ・所属団体

- ・代表者メールアドレス
- ・共著者
- ・発表区分「論文」or「報告」
- ・和文題名
- ・英文題名
- ・和文要旨(200-300 字程度)または英文要旨(150-200 ワード程度)
- ・キーワード(5 つ以内)

■ 予稿集原稿の体裁について

予稿集の原稿の体裁は、以下の通りです。

「論文部門」 A4 サイズ 2 段組原則 6 ページ以内

「報告部門」 A4 サイズ 2 段組原則 4 ページ以内

※「報告部門」の場合は、論文形式のほか、発表用資料の形式でも受け付けます。発表用スライドの場合は、1 ページ 2 スライドで、2-6 ページの範囲で自由とします。

※予稿集原稿テンプレートは、以下よりダウンロードしてください。

http://www.telework-gakkai.jp/archive/newsletter/genko_template_new.doc

【お問合せ先】

ご不明の点は第 22 回大会実行委員会までお問合せください。

taikai@jats-mail.net

※メール送信等の際は下記の確認事項にご同意の上、お願いいたします。

メールおよび提出要旨にご記入いただいたデータに含まれる個人情報は、第 22 回テレワーク学会研究発表会への応募・発表に関連する業務のためにのみ利用いたします。

第 22 回大会実行委員会は、事前にお申込者の同意を得ない限り、入手した個人情報を第三者に提供あるいは開示しません。お預かりしたデータに含まれる個人情報の内容について、確認、訂正や削除を希望される方は、大会実行委員会までご連絡ください。ご本人様であることを確認の上、速やかに対応いたします。

【第 22 回大会実行委員会】

大会委員長 市川宏雄(日本テレワーク学会会長／明治大学)

実行委員長 中西穂高(同 副会長・企画事業部長／帝京大学)

実行委員 小豆川裕子(同 副会長／常葉大学)

実行委員 國井昭男(同 副会長・広報推進部長／情報通信総合研究所)

実行委員 三浦拓馬(同 理事・事務局長／いわきテレワークセンター)

実行委員 今泉千明(同 理事・学術部長／日本テレワーク協会)

実行委員 木下巖(同 理事／協和発酵キリン)

実行委員 中村仁(同 理事／跡見学園女子大学)

実行委員 平山信彦(同 理事／アクティブストラテジーズ)